

履修番号1

- 問題 1 自動車を運転するときは、体を斜めにしたり、肘を窓枠にかけたりして運転してはならない。
- 問題 2 運転者が疲労のとき、眠気を誘うような薬を飲んだ場合は、運転しないほうがよい。
- 問題 3 二輪車を運転している時は、ステップに土踏まずを乗せて、足先はブレーキを不用意に踏んでしまうことがないように、ブレーキペダルの下に位置するのがよい。
- 問題 4 車の速度と燃料消費量は密接な関係があり、速度が低すぎても高すぎても燃料消費量は多くなり、急発進、急ブレーキや空ぶかしを行うと余分な燃料を消費する。
- 問題 5 長距離運転をするときは、予め計画を立ててしまうと、計画にとらわれがちになるので、計画は立てずその場に応じて運転するとよい。
- 問題 6 シートベルトは、病気などやむを得ないときを除いては、着用しなければならない。
- 問題 7 交通規則とは、道路を安全、円滑に通行する上で守るべき共通の約束事として決められているものであり、運転者は交通規則を守るべき社会的な責任と義務がある。
- 問題 8 履物は運転操作には関係ないので、車を運転する前に注意を払う必要はない。
- 問題 9 自動車の燃料消費量は、一定の距離を走るのであれば、速度が低すぎても高すぎても変わることはない。
- 問題 10 車を運転中、行き先がわからなくなったので、備え付けのカーナビゲーション装置を時々注視しながら走行した。
- 問題 11 二輪車を運転する時は、工事用安全帽を乗車用ヘルメットとして使用してはならない。
- 問題 12 短い区間を運転するときでも、自分の運転技能と車の性能に合った運転計画を立てることが必要である。
- 問題 13 原動機付自転車に乗るときは、必ず自動車損害賠償責任保険が責任共済に加入する必要がある。
- 問題 14 二輪車に乗るときは、転倒する時のことも考えて体の露出がなるべく少ないような服装をしたほうがよい。
- 問題 15 車を運転するものは、運転の技術や知識はもとより、社会人として、ほかの道路利用者に対する思いやりの気持ちを持つように求められている。
- 問題 16 助手席のエアバックが備えてある自動車の助手席にやむを得ず幼児を乗せるとき、座席をできるだけ後ろに下げ、必ずチャイルドシートを前向きに固定する。
- 問題 17 自分は運転免許がなかったので、友人が酒を飲んでることを知っていたが、その友人の運転する車で自宅まで送ってもらった。
- 問題 18 原動機付自転車の正しい運転姿勢は、ステップに乗せた足のつま先が外側を向き、両膝を開いているのがよい。
- 問題 19 シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減する効果があるので、後部座席にシートベルトが備えてある車の運転者は後部同乗者にも着用させた。
- 問題 20 シートベルトは交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより、運転中の疲労を軽減するなど、さまざまな効果がある。
- 問題 21 疲れている時や病気の時、心配事がある時などは、注意力が散漫になったり、判断力が衰えたりするので、このような時は、運転を控えるか体の調子を整えてから運転するのがよい。
- 問題 22 二輪車を選ぶときは、またがってみて、片足が地面につき車体が支えられるかどうか、8の字型に押して歩くことが完全にできるかどうかを確かめておくことが大切である。
- 問題 23 運転免許証は、盗難や紛失に備えて自宅に保管し、運転免許証のコピーを作り、それを持って運転した。
- 問題 24 二輪車の乗車姿勢は、手首を下げハンドルを手前に引くような気持ちで、グリップを軽く持ち、肩の力を抜き、肘をわずかに曲げ、背筋を伸ばして、視線を先のほうに向けるのがよい。
- 問題 25 助手席用のエアバックを備えている自動車の助手席に、やむを得ず幼児を同乗させるときは、座席をできるだけ前に出した上でチャイルドシートを使用させることが大切である。
- 問題 26 交通事故を起こした場合、刑事上の責任は車を運転した本人にあるが、民事上の責任は全て車にかけてある保険の保険会社が負うことになっている。
- 問題 27 運転席に座ったときのシートの前後の位置は、クラッチを踏んだとき、ひざがわずかに曲がる状態に合わせる。
- 問題 28 二輪車の正しい乗車姿勢は、ステップに土踏まずを乗せ、足の裏が水平になるようにし、つま先が前を向き、タンクを両膝で閉めるのがよい。
- 問題 29 シートベルトは、エアバックを備えている自動車に乗る場合でも着用しなければならない。
- 問題 30 信号待ちで停止中、急用を思い出したので携帯電話を手にとって使用していたが、対面する信号が青になったので、そのまま話をしながら発進をした。
- 問題 31 夏の暑い季節に二輪車に乗る時は、露出部分の多い服装をした方が疲労を軽減することができ、安全運転につながる。
- 問題 32 二輪車を運転するときは、工事用安全帽でもあご紐を確実に締めることができれば、乗車用ヘルメットとみなされる。
- 問題 33 二輪車を8の字型に押して歩くことが完全にできることも、二輪車の車種を選ぶときの一つの条件である。
- 問題 34 運転者は、同乗者が車から乗り降りをする際、ドアの開け閉めまで注意する必要はない。

- 問題 35 自倍責保険か責任共済に加入していなければ、自動車(原動機付自転車も含む。)を運転することができない。
- 問題 36 ゆとりのある正しい運転姿勢は、ハンドルに両手をかけた時、肘が水平になるようにシートの背を合わせるとよい。
- 問題 37 助手席用のエアバックを備えている自動車に幼児を同乗させる時には、後部座席でチャイルドシートを使用させた方がよい。
- 問題 38 自動車を運転する時は、有効な自動車検査証と自動車損害賠償責任保険証明書または責任共済証明書を備えているか確かめることが大切である。
- 問題 39 運転者は、相手の立場に立ち、お互いに譲り合いと思いやりの気持ちを持って運転することが大切である。
- 問題 40 シートベルトは、エアバックが備えられている車に乗る場合は、締めなくてもよい。
- 問題 41 無免許の人や酒を呑んだ人に頼まれて車を貸した場合には、その借りた人が運転したとしても、車を貸した者にまで責任は及ばない。
- 問題 42 チャイルドシートを正しく使用することにより、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、子供が運転操作の支障となることを防止する。
- 問題 43 二輪車の正しい運転姿勢は、背筋を伸ばし、視線は手前ではなく先の方へ向ける。
- 問題 44 自動車を運転するときは、有効な自動車検査証を自動車に備えておかなければならないが、自動車損害賠償責任保険証明書(責任共済証明書も含む)は義務付けられていない。
- 問題 45 自賠責保険と任意保険は任意のものなので必ず加入する必要はない。
- 問題 46 シートベルトは、最高速度30キロメートル以下で走行する時や近くに買い物に行く場合は、着用が除外される。
- 問題 47 運転者はドアをロックし、同乗者が不用意に開けたりしないように注意しなければならない。
- 問題 48 二輪車のハンドルの握り方は、手首を下げて、ハンドルを手前に引くような気持ちで、グリップを軽く持つようにするのがよい。
- 問題 49 自動車の速度と燃料消費量には密接な関係があり、速度が低すぎても高すぎても燃料消費量は多くなる。
- 問題 50 二輪車は、自賠責保険か責任共済が切れていても任意保険に加入していれば運転することができる。

# 履修番号1 解答



もんだい 問題 1	○	もんだい 問題 26	×
もんだい 問題 2	○	もんだい 問題 27	○
もんだい 問題 3	×	もんだい 問題 28	○
もんだい 問題 4	○	もんだい 問題 29	○
もんだい 問題 5	×	もんだい 問題 30	×
もんだい 問題 6	○	もんだい 問題 31	×
もんだい 問題 7	○	もんだい 問題 32	×
もんだい 問題 8	×	もんだい 問題 33	○
もんだい 問題 9	×	もんだい 問題 34	×
もんだい 問題 10	×	もんだい 問題 35	○
もんだい 問題 11	○	もんだい 問題 36	×
もんだい 問題 12	○	もんだい 問題 37	○
もんだい 問題 13	○	もんだい 問題 38	○
もんだい 問題 14	○	もんだい 問題 39	○
もんだい 問題 15	○	もんだい 問題 40	×
もんだい 問題 16	○	もんだい 問題 41	×
もんだい 問題 17	×	もんだい 問題 42	○
もんだい 問題 18	×	もんだい 問題 43	○
もんだい 問題 19	○	もんだい 問題 44	×
もんだい 問題 20	○	もんだい 問題 45	×
もんだい 問題 21	○	もんだい 問題 46	×
もんだい 問題 22	×	もんだい 問題 47	○
もんだい 問題 23	×	もんだい 問題 48	×
もんだい 問題 24	×	もんだい 問題 49	○
もんだい 問題 25	×	もんだい 問題 50	×

## ☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、学科教本にマークし、後で暗記できる状態(明日になると忘れてしまいますので・・・)にしておきましょう。→問題で覚えると、文章などが変わるとわからなくなります。